

いわいずみ 議会だより Iwaizumi

2014
4.15
No.

167

発行 岩手県岩泉町議会

まちの笑顔 85

お帰り～、三鉄！
(三陸鉄道小本駅)

医療費助成を中学生まで拡大 3p

特集 クローズアップ新事業 5p

町の考えを問う (7議員が一般質問) 10p

検証 議会の要望と町の回答 20p



3月定例会は2月18日から3月7日までの18日間にわたり開かれました。初日の本会議では、伊達勝身町長から平成26年度の施政方針が表明され、これに基づく新年度予算など38議案が提出されました。一般質問には7人の議員が登壇。条例、予算関連の議案は2つの特別委員会を設けて集中審査。その結果、すべての議案を全会一致で原案のとおり可決しました。

学生まで拡大

平 成26年度の一般会計と7つの特別会計を合わせた当初予算総額が157億1550万円に決まりました。このうち一般会計は116億2千万円（前年度当初予算比22・1%減）で、震災からの復興・復興に関する21事業、25億3千万円を盛り込みました。（予算の概要や特別委員会の審査内容は4頁から7頁に掲載しています）

26年度当初予算、震災関連に約25億円投入

当初予算の主な震災復旧・復興事業

事業名	予算額	主な内容
公立学校施設災害復旧	12億1722万円	小本小、小本中の移転復旧工事ほか
漁業集落防災機能強化	6億9035万円	集団移転地の排水施設および道路改良舗装工事
	2億2900万円	集団移転地の配水管布設工事ほか
被災者生活再建支援	5750万円	被災者の住宅再建などに対する支援
被害援護資金貸付	1750万円	被災者へ災害援護資金を貸し付ける
健康づくり推進事業	560万円	被災者の健康づくりを支援する

*21事業の中から主な事業を掲載

町長施政方針（要旨）

町政懇談会で「自分たちの住むこの地域は今後どうなっていくのか」という将来に対する不安の声を聞き、本町の進むべき方向をしっかりと見定めながら前に進んでいかなければならないと決意を新たにしました。

「定住化の促進」を引き続き重点的かつ戦略的に推進しながら、今後も「新岩泉町まちづくり総合計画」と「町震災復興計画」を推進していくことにより、震災からの早期復興、ひいては町全体の振興・発展をはかっていきたいと考えています。（詳しくは「広報いわいずみ」4月1日号をご覧ください）



町政運営の方針を表明する伊達勝身町長

平成26年8月1日から実施

こ れまで、小学校入
学前の乳幼児を対
象としていた医療費助
成の対象者を、中学校
卒業までの生徒に拡大
する条例が可決されま
した。

問 住民税課税世帯
は、1カ月1診療科あ
たり外来で1500
円、入院で5000円
の自己負担が生じる。
根拠を聞く。

答 県の医療費助成事
業の要綱に準じた額で
ある。

問 この医療費助成
は、子育て支援の一環
である。定住化を進め
る上でも、県と同じで
はなく、一歩踏み込む
べきではないか。複数
の病院を受診すれば、
多額の負担になる。今
後無料化を検討してい
るか。

答 実施しながら、受
給年齢や受給者負担に
ついて検討を行う。

問 8月1日から実施
する理由を聞く。

答 システム改修や医
療機関に周知する期間
が必要なためである。

現代病が多くなつており、子ど
もによつて病気の内容が異なるた
め、少子高齢化を支える世代に
とつて本当に助かる制度です。



ながやま あつし
長山 敦さん
(岩泉・37歳)

医療費助成を中

記録的な2月の大雪 被害を行政報告

定 例会初日に橋場覚
副町長が2月15日
から16日までの大雪被
害の状況について行政
報告を行いました。内
容を要約してお伝えし
ます。

気象庁の観測統計を
開始以来、2月の積雪
量としては最高の77セ
ンチメートルを記録。
国道340号や県道
6路線で雪崩などによ
る通行止めが発生。町
道においても除雪が困
難な状況が続き、県か
ら花巻地方に配備され

害があった。

■停電

小本全域、三田市、二
升石、尼額、東上町の
一部、相沢

■通信

引き込み線の断線など
で固定電話が不通

■断水

二升石簡易水道、小本

簡易水道
■農業
生乳の廃棄、ビニール
ハウスの全壊

■町民バス

運休や区間制限の路線
が発生

■休校・休園 (17日)

安家小学校、安家たん
ぼほ保育園、小本保
園



77センチメートルの積雪を記録

津波防災避難施設 平成27年度完成予定

小 本津波防災避難施
設に関する工事請
負契約を議決しました。
契約内容は次のとお
りです。

■建築工事

▽請負者
宮城建設・小野新・フ
ジネ経営共同企業体特
定共同企業体

▽契約金額

10億4318万円

■機械設備工事

▽請負者
小野新・オルガノプラント
サービス経営共同企業体

▽契約金額

1億3650万円

■電気設備工事

▽請負者 (株)興和電設

▽契約金額

9240万円

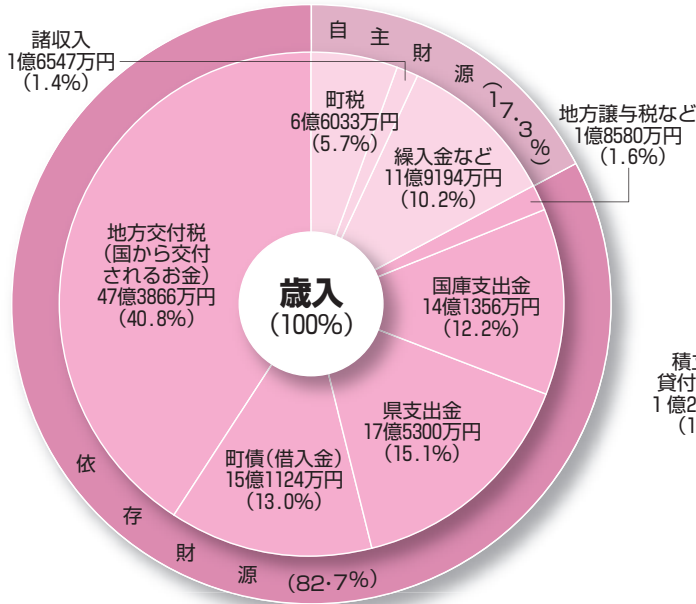
予 算

総額157億円を

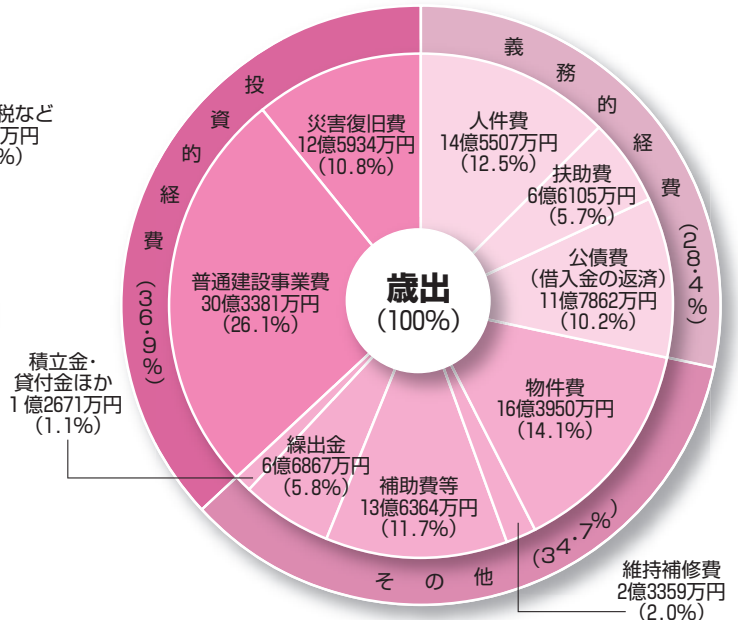


新年度予算審査特別委員会

一般会計 116億2000万円の内訳



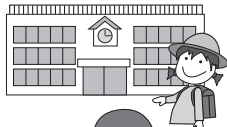
〈収入の内訳〉



〈支出の内訳〉

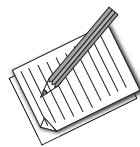
● 普通建設事業費

道路、学校などの建設費



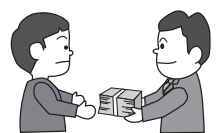
● 物件費

旅費、消耗品など消費的性質の経費



● 補助費等

補助金、交付金などのお金



● 扶助費

児童手当の支給や各種扶助のためのお金



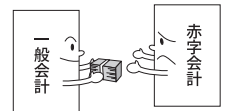
● 維持補修費

公共施設を管理するために必要な経費



● 繰出金

ほかの会計などに移動するお金



● 平成26年度各会計の当初予算額

会計名		予算額	前年度比(伸び率)
一	一般会計	116億2000万円	▲22.1%
特別会計	国民健康保険	事業勘定	15億5730万円 ▲4.3%
		診療施設勘定	3270万円 1.2%
	後期高齢者医療	1億130万円 3.5%	
	介護保険	事業勘定	14億6390万円 0.0%
		サービス事業勘定	1230万円 1.7%
	簡易水道	5億9260万円 32.0%	
	観光事業	1億5840万円 20.2%	
公共下水道事業	1億7170万円 2.9%		
大川財産区	530万円 15.2%		
合計		157億1550万円 ▲16.9%	

● 町の借金(地方債)と貯金(基金)の状況

	【一般会計】	
	総額 (前年度比較)	町民一人あたり (前年度比較)
借金 (A)	136億7896万円 (13億5722万円)	132万円 (17万円)
借金に対する国の援助見込み額 (B)	115億3000万円 (11億4300万円)	特定の借金に対しては国から交付税で補てんされます
実質の借金 (A) - (B)	21億4896万円 (2億1422万円)	21万円 (3万円)
貯金	62億3192万円 (4億4712万円)	60万円 (6万円)

※平成26年3月末現在の見込み額 (人口：10398人で計算)

小川こども園(仮称) 整備事業 2億3026万円



褊綿児童館閉館式の様子(3月25日)

老朽化が進む小川保育園を新築移転。
また、親の就労の有無にかかわらず保育サービスが受けられる施設として整備し、平成27年度開園を目指します。

ワインセラー 整備事業 387万円

新たな観光資源とするため、3000本貯蔵できるワインセラーを整備します。
記念日などに購入した宇霊羅ワイン(コメント付き)を、有料で龍泉洞内に保管・展示するためです。



飾る、観る、味わう。楽しみ方が増える記念日ワイン

クローズアップ 新事業

町は、基本目標の「大きな樹が育ち、明日が見える岩泉」を実現するため、さまざまな事業を展開しています。
ここでは新年度の主な事業について内容を紹介します。

森林認証事業

475万円



東京オリンピックで、岩泉町の森林認証材を使用した製品が使われると嬉しい!

将来を見据えた森林需要に対応すべく、県有林を含めた民有林への森林認証(※)の拡大をはかります。

水洗化促進事業補助金 150万円

水洗トイレの普及を促進するため、屋外排水管の距離に応じて補助金を交付します。

- 補助額
1世帯あたり10万円を限度
- 実施年度
平成26~28年度
- ※建築確認を伴う増改築や新築の場合は補助対象外。



水洗トイレは快適!

(※)適正に管理された森林から産出した木材などに認証マークを付けることによって、持続可能な森林の利用と保護をはかる制度



3.11 メモリアルイベントで合唱する小本小学校生

小本小！ 中学校の移転復旧

27年度完成を目指す

新年度予算審査の特別委員会（小成茂委員長）では、震災復旧・復興に関する予算や新規事業などを慎重に審査し、全会計の予算を可決と決定。

その後の本会議で、全会一致で原案のとおり可決しました。委員会の審査の中からいくつかの質疑を要約してお伝えします。

工事の概要（平成 26～27 年度）

名称	構造	面積
校舎	鉄筋コンクリート造 4階建て	4600 平方メートル
屋内運動場（小学校）		920 平方メートル
屋内運動場（中学校）	鉄骨造 平屋建て	1392 平方メートル
プール（上屋付き）		1117 平方メートル
教員住宅	木造2階建て 1棟4戸	180 平方メートル

問 小本小学校、小本中学校は、事業費が31億円でエレベーターが付いた4階建てとのこと。少子化が進む中でこの規模は適正か。

答 1・2階を小学生が、3・4階を中学生が、学校の屋上は避難場所として使用する

る。よって、4階建てとする。

問 災害時に屋上の対応（※1）が有効と聞く。表示する予定はあるか。

答 現段階では、表示を予定していない。

スポーツクラブ設立の効果は成果が見え始めている

問 平成25年度に設立されたスポーツクラブの効果はどうか。

答 平成25年度に浅内小学校5年生の女子が県のスーパーキッズ（※2）に認定されたが、スポーツクラブで、その指導援助も行った。また、スポーツ教室で、クラブマネージャーの指導により、50メートル走のタイムをかなり縮められた子どもがいる。

問 2年後に岩手国体が、6年後に東京

（※1）ヘリコプターの飛行の目印
（※2）身体能力の高い児童を早期発掘し、世界で活躍する選手の育成を目指す事業

オリンピックが開催される。

地元出身選手の活躍は町民に元気を与える。

競技スポーツのレベルアップをはかる考えはないか。

答 小学生の段階から体力や競技力を高める必要がある。学校、体育協会、スポーツクラブなど関係機関と連携を取り進めていきたい。

問 岩泉高校のボクシング部は、各種大会で優秀な成績を収めてきた経緯がある。

また、オリンピックに出場した三浦国宏選手を輩出している。町内在住のボクシン

グ部OBに指導してもらい世界に通用する選手を、幼少期から育成する方法はどうか。

答 本町出身のスポーツ選手による指導など、改めて検討していく。



中学生走り方教室
(スポーツクラブ)

ラジオ FM岩手のアンテナを設置

問 ラジオアンテナ設置事業870万円

はどのような内容か。

答 大森山にFM岩手のアンテナを設置する。

問 受信できる範囲を示せ。

答 おおよそ、町内の中心部で現在NHK-FMラジオが受信できる範囲になる。

高齢者 冬場の共同生活の取り組み 効果的な支援策を探る

問 高齢者の冬場の共同生活の取り組みはどのようになっているのか。

答 町の高齢化率は38.7%を超え、家庭や地域の介護力が低下している状況である。このため、平成26年度に住環境などのニーズ調査を実施し、支援策の検討を行う。

問 進行する高齢化に備え、介護予防に力を入れるべきと考え

る。介護予防教室の内容を聞く。

答 介護保険サービスを受けていない人へのチェックリストによる調査を行い、対象者を絞り込み、3カ月にわたり運動や認知症対策などを行っている。シルバーカーにつかまらないと歩けなかった人が、3カ月後には膝の痛みが軽くなり、歩けるようになった人もいる。



笑顔がステキな高齢者(あそびうたコンサートの様子)

温泉ホテル 建て替えの考えは莫大な金額が課題

温泉ホテル

問 エアコン改修に約2千万円が予算計上されている。これまでにエレベーターの設置や部屋の改修などかなりの費用をかけている。老朽化はさらに進むが、建て替える考えはないか。

答 施設が完備していないため、団体客の受け入れが厳しい状況である。建て替えには莫大な金額がかかるが、建て替えを含めて今後の運用について検討を進める。

終了後の就職先を聞く 町内に8人残る予定

人材育成

問 人材育成事業は3年目の最終年度を迎える。終了後の就職先を聞く。

答 2人は未定、8人は町内に残る見込みである。

問 この事業の効果を聞く。

答 10以上の資格を取った若手塾生達が、これからの町の将来を担ってほしいと考えている。

寝台列車宿泊施設

条例補正予算等審査特別委員会

施設整備に5千万円

条例補正予算等審査の特別委員会（菊地弘巳委員長）では、ふれあいランド岩泉条例の一部改正や各会計の補正予算を審査し、付託された議案すべてを可決と決定。その後の本会議で、全会一致で原案のとおり可決しました。委員会の審査の中からいくつかの質疑を要約してお伝えします。

使用料

問 寝台列車を宿泊施設として整備するために要した経費を考えると、かなり安い使用料に感じる。どのような考えで料金を設定したのか。

答 整備経費から使用料を算定する方法ではなく、できるだけ多くの人を集めて、町内へ経済効果をはかるよう料金を設定した。また、10人用コテージに10人で泊まると1人約1900円の料金であることも考慮した。

安全対策

問 女性客のプライバシーや安全面の確保を

答 保を考えているか。3両の車両を男女別にしながら、通常の

寝台列車と同じ状況で使用するのは、国内初と思われる。

寝台列車の使用について次のとおり可決されました

- 使用期間 4月1日(初年度は未定)から11月30日
- 日帰り使用 なし
- 宿泊使用 午後3時から翌日午前10時まで
- 料金 基本使用料①1室1020円、宿泊加算料②1020円

★A寝台 定員2人の1室に2人で1泊する場合
 ①+ (②×2人) = 3060円
 1人あたり1530円

★B寝台 定員4人の1室に4人で1泊する場合
 ①+ (②×4人) = 5100円
 1人あたり1275円

3月補正予算の状況

会計名		補正額	補正後の予算額	
一般会計		▲15億1200万円	159億5052万円	
特別会計	国民健康保険 事業勘定	▲2281万円	16億4360万円	
	国民健康保険 診療施設勘定	▲47万円	3187万円	
	後期高齢者医療	190万円	9980万円	
	介護保険	事業勘定	▲2539万円	14億4453万円
		サービス事業勘定	▲68万円	1142万円
	簡易水道	▲2766万円	4億4621万円	
	観光事業	2030万円	1億6240万円	
公共下水道事業	▲62万円	1億7354万円		
大川財産区	145万円	605万円		



- 電気・給排水・冷暖房設備を整備
- シャワーを10台増設
- 遊具の設置

平成26年夏 オープン予定



B寝台の1室。
4人宿泊できます

問 寝台列車が予定の場所に設置された。寝台列車の床下から地面の距離は、子どもが自由に通り抜けられるような高さで危険性を感じた。

答 このスペースは有効活用するのか、それとも安全対策を行うか考えを聞く。

答 車両そのものを楽しんで、極力手をかけない予定である。状況を勘案しながら、安全面に万全を尽くす。

山菜
ワラビの振興策は補助対象者を検討

問 山菜生産拡大事業補助金60万円の減額理由は何か。

答 しながら、圃場開拓に取り組む。

答 ワラビ栽培の補助金として、1組合へ助成した。その他に希望者を募れなかったことから減額した。

問 団体だけでなく個人も補助対象にしてはどうか。

答 現在は、3世帯以上の団体へ補助している。生産振興をはかるため、補助対象者を検討する。

問 今後のワラビ振興策をどのように考えているか。

答 ワラビを収穫させる観光農園を検討

大雪
除雪車の台数は十分か
ロータリー車購入を検討

問 2月の大雪では、除雪車は足りたか。

答 ロータリー除雪車の新規購入を検討する。

答 この規模の大雪であれば、足りないというより進まない。

問 町で購入した除雪車を業者へ貸し出す方法はどうか。

答 現在、町には16台の除雪車がある。

雪を飛ばさないと道幅を確保できないことから、県からロータリー除雪車を借りて除雪を行った。

町に1台あるが、

3台は直営で、13台は業者に貸与して除雪を行っている。

**19億円の減額理由は
県の推計と実績の差
がれき**

問 災害廃棄物処理委託料19億2731万円の減額理由は何か。

答 県への委託事業で当初予算は4万6800トのがれき処理を想定していた。平成25年12月に、県が埋蔵されていたがれきを掘り起こし調査したところ、1万3797トの処理で終了するとの報告であった。このことから、減額するものである。

問 事業の完了時期を示せ。

答 小本の仮置き場からの搬出は1月に完了した。藤原埠頭(宮古市)にあるものを2月に処理すれば本町分は完了する。
仮置き場は、土壌調査を実施し、現状復旧したうえで3月に貸主へ返還予定である。

補正予算の主な内容

- ◇岩泉乳業(株)運営資金貸付金返還金 ▲2300万円 (合計2708万円)
浄化槽の修繕で3000万円の支出があったことから、繰り上げ返還分の一部を減額しました。
- ◇(株)岩泉きのこ産業運営資金貸付金 ▲5000万円
経営状況が良好のため、貸し付けしなかったため減額しました。

第6回臨時会

津波防災避難施設整備に伴う補正予算を可決

平成25年第6回臨時会は12月26日に開かれました。この臨時会では、2つの議案が提出され、全会一致で原案のとおり可決しました。

■一般会計補正予算

▽内容

小本津波防災避難施設建築工事費

▽金額
2億223万円

■損害賠償額の決定

▽内容

釜津田地内の道路横断グレーチングが、表裏逆に設置されていた。

このことにより平成25年9月に、競技用サイクリング車の転倒事故が発生した。

▽損害賠償額
62万5610円

第1回臨時会

3地区のぴーちゃんねっと工事契約を可決

平成26年第1回臨時会は2月3日に開かれました。この臨時会では、左記の議案が提出され、全会一致で原案のとおり可決しました。

■工事名

地域情報通信基盤整備事業施設整備工事

▽工事場所

釜津田、安家、有芸地内

▽金額

6億2055万円

▽請負者

(株)NTT東日本ー岩手(盛岡市)

ぴーちゃんねっとキャラクタの「あいぴーちゃん」



町の考えを問う

一般質問

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問をただすこと、あるいは報告や説明を求めることを言います。

この一般質問により、執行機関の政治姿勢を明らかにするとともに、政治責任を明確にさせます。結果として「現行の政策変更」や「新規政策を採用」させるなどの効果があります。内容を要約して登壇順(質問順)にお知らせします。

7人の議員が発言

～質問内容～

① 国の農政大改革の対応を示せ
② 英語の教科化の取り組みは
三田地泰正 11p

① 健康寿命の延伸対策を示せ
三田地久志 12p

① 獣医師の確保について聞く
② ふるさと納税へのさらなる取り組みを
八重樫龍介 13p

① 定住化には制度の見直しが必要
② 保育士の確保と民営化を問う
③ 新図書館を文化事業の拠点に
坂本 昇 14p

① 大川地域の活性化策は
② 地域振興協議会の今後は
佐々木久任 15p

① 産業振興について問う
② 乙茂道の駅の周辺整備を
野館 泰喜 16p

① 集団移転地の地盤調査は
② 町独自の住宅支援策を
③ 漁業再開の環境整備を
④ 民生委員の配置状況は
林崎寛次郎 17p



地域の振興に資するよう取り組み

伊達 町長

国の農政大改革の対応を示せ

三田地 泰正 議員

三田地議員 原木シイ
タケが原発事故の風評

シイタケ支援策

三田地泰正議員 国の農政大改革に対する産業構造と経営発展の展望を聞く。
伊達町長 第1次産業は、伝統文化の継承など、地域社会の存続を担っている面もあり、地域の振興に資するよう取り組み。



被害を受けている。支援すべきではないか。
町長 従来の支援策に加え、原木調達の経費へも支援を行っている。定期的な放射能検査による安全なシイタケの生産を引き続き支援する。

6次産業化

三田地議員 農業の6次産業化に向けた対応を示せ。
町長 国、県による多様な支援事業が創設されている。商品づくりを農家個人とするか、あるいは第三セクターが担う形が容易なのかを含めて支援を検討する。

ハンターの確保

三田地議員 有害鳥獣の駆除ハンターを確保すべきである。
町長 新規狩猟者の確保をはかるため、狩猟免許や銃の所持許可の取得に伴う費用を新たに支援するとともに、岩泉猟友会を通じて捕獲費用の支援を行う。

英語の教科化の取り組みは楽しく学べることが大事



英語教育の様子（浅内小学校）

三田地議員 英語教育の教科化や前倒しのは是非を問う。
三上教育長 専門教員の配置が課題である。小学校では、英語に触

れ、楽しく学べる環境が重要である。

道徳教育

三田地議員 道徳の教科化について見解は。教育長 児童生徒の本質的な「心の教育」に取り組みことが重要である。

土曜授業

三田地議員 土曜授業復活の議論があるが、どのような考えか。教育長 当面行わない予定である。

こども園

三田地議員 こども園の資格の実態はどうか。町長 本町のこども園は保育所型で進めており、職員は、保育士か幼稚園教諭のどちらかの資格があれば対応できる。



健康寿命の延伸対策を示せ

三田地 久志 議員
みたち ひさし

積極的に課題解決に取り組む

伊達町長

三田地久志議員 本町の平成22年の平均寿命は男性77.2歳、女性は85.0歳で、県内33市町村で男性32番目、女性は最下位となっている。しかし今後の取り組みで平均寿命は伸びていくと思われる。そこで次の点について聞く。

取による生活習慣病が非常に多いため、改善策として1日の野菜摂取量350グラムを達成するために「GoGo5皿」運動を提唱していると聞いたが、町民に浸透していないのではないか。

②口腔ケアをすることで、生活習慣病や認知症の発症を抑えることができ、健康寿命の延伸に繋がると思われるが見解を問う。

「GoGo5皿」は、どんなこと?

1日に必要な野菜の量は350グラムです。

野菜料理1品(約70グラム)を5皿食べましょうという運動。

性別	男		女	
	岩手県	長野県	岩手県	長野県
平均寿命	45位	1位	43位	1位
野菜摂取量	321グラム	379グラム	301グラム	353グラム

平成23年厚生労働省国民健康栄養調査

ポイント

野菜に含まれる「カリウム」という成分は、体の中の余分な塩分を外に出してくれます。



3歳児歯科健診の様子

伊達町長 ①町では健康づくりネットワーク事業(まめまめ・もりもりネットワーク)を立ち上げ、運動の励行、食の改善、各種健診などの充実による予防に取り組んだ結果、ウォーキングの普及やがん検診の受診率の向上などには一定の成果を収めた。

②これまで乳幼児から高齢者まで歯科保健指導を行ってきた。しかし、子どもたちの口腔機能の低下など多くの課題があることから、積極的に予防活動を展開する。

プロジェクトチームでは、課題解決に向け「GoGo5皿運動」を提唱し、各種健診や健康教室などの機会にこの運動の取り組みを徹底している。また、減塩や血圧管理、糖尿病予防をはかるため、保健師の家庭訪問による「見える化」活動を強化している。



獣医師の確保について聞く

やえがし りゅうすけ
八重樫 龍介 議員

最重要課題として取り組む

伊達 町長

町の考えを問う



獣医師と地域の皆さんの協力で健康な牛が育てられます(子牛誕生の様子)

八重樫龍介議員 本町には4人の獣医師が営業しているが、残念ながら次世代の獣医師がいない。
現在閉所中の下閉伊北部家畜診療所の再開、または町職員としての採用など、早急な対策を行うべきではないか。

診療所の再開に向け、町村、農協、共済組合および開業獣医師で検討したが、有効な改善策を見いだせない状況である。
家畜診療所を再開できない場合でも、獣医師の後継者を確保しなければならぬという認識は一致しており、町としても最重要課題として取り組む。

ふるさと納税へのさらなる取り組みを
具体案を積極的に検討する

八重樫議員 町では、ふるさと納税で20万円以上の寄附者へ3千円相当の特産品を届ける特典を設けている。

特産品のPRも兼ねて、ふるさと納税の特典と情報発信のさらなる充実が必要である。

町長 ふるさと納税は、平成20年の税制改正で、寄附金控除の拡充により実施された。

全国から多くの寄附が寄せられ、平成26年1月末の総額は、166件で4206万

円になっている。町では、寄附の金額に関わらず、寄附者へ広報紙を発送するなど行ってきた。

提言の「寄附の金額に応じた地域資源を活用した特典制度や、周知するホームページの充実」は、特産品のPRや地域産業の振興、町の活性化の観点からも有益であると認識している。関係団体と協議し、具体案について積極的に検討する。

ふるさと納税者への特典

寄附した人全員

- ① 広報いわいずみの定期発送
- ② 生涯学習カレンダーの発送
- ③ 特別町民証の発行(1年間有効)

- 特典1 龍泉洞の無料入洞
- 特典2 町内の道の駅での10% 購買割引
- 特典3 龍泉洞温泉ホテル宿泊料の10% 割引

20万円以上寄附した人

町の特産品3千円相当を贈呈



定住化には制度の見直しが必要

さかもと のぼる
坂本 昇 議員

横断的・総合的に検討、改善する

伊達 町長



定住化のためには、働く場所の確保が必要です（岩泉乳業）

坂本昇議員 本町の人口減少率は岩手県でも高く、25年後には現在の半分となる5千人台になると発表があった。「定住化の促進」を重点的かつ戦略的に推進するため、横断的かつ総合的に、現行制度の見直しや規制緩和を行う必要があると考えるがどうか。

伊達町長 総合的な見直しの必要性は認識している。しかし、最小の経費で最大の効果を挙げることも求められるので、一定の枠や規制は必要があるとも考えている。町では住民ニーズに対してあらゆる角度から検討を重ね、柔軟に対応し、国の各種事業を活用しながら、定住化の促進に努めていく。

保育士の確保と民営化を問う 待遇改善をはかる！民営化は今後の課題

坂本議員 保育士の確保と保育園の民営化をどのように考えているか聞く。

町長 昨年、保育園の臨時職員を対象に待遇に関するアンケート調査を行った結果、多くの職員から賃金体系の見直しの要望を受けた。このことから、本年1月に賃金体系を改善した。新年度も働きやすい環境づくりと保育士の確保に努める。

保育園の民営化について検討してきたが、先に行ったアンケート調査の結果では、臨時保育士の正職員への希望者が少ない状況であった。また、移行する業務内容など解決すべき課題が多いことから、引き続き検討する。

新図書館を文化事業の拠点に 町民ニーズに応え地域振興につなげる

坂本議員 8月に開館する新図書館の具体的な運営内容を示せ。

三上教育長 低い本棚を設置し館内が見渡せる開放的な図書館で、太陽光発電を利用した冷暖房完備の施設となっている。

また、喫茶室があり、地域住民の学習や交流の場としての利用が期待される。

町民会館と一体化した施設として、住民や地域に役立つ情報提供を行い、地域振興につなげていきたい。

また、喫茶室があり、地域住民の学習や交流の場としての利用が期待される。

町民会館と一体化した施設として、住民や地域に役立つ情報提供を行い、地域振興につなげていきたい。



徹底した6次産業化の推進

伊達町長

大川地域の活性化策は

佐々木 久任 議員

佐々木久任議員

大川地区の人口は、町村合併時の4746人が平成26年1月現在で1086人となっている。昨年は、大川中学校が閉校となり、JRR岩泉線の廃止が決定になった。

大川地域は課題が山積しており、このままだと地域は活力を失い人口減少に拍車がかかることが懸念される。

しかし、今であれば、

意欲ある人材と、他地域に負けない住民の結束力がある。このことから次の点を聞く。

- ① 大川地域を町の特別区的な位置付けとし、計画的かつ集中的に産業の振興と活性化をはかる考えはないか。
- ② 閉校した大川中学校の校舎の活用方法。
- ③ 町営住宅の整備に関する取り組み。

配りながら、徹底した6次産業化の推進による産業の振興、企業誘致および第三セクターを中心とした雇用の創出、町民の所得向上対策などに全力を傾注し定住化の促進に努める。

- ② 大川小学校の校舎として活用できないかを含め、地域住民と相談しながら検討する。
- ③ 現在の大川地域町営住宅は老朽化が進んでいるため廃止する。旧

教員住宅を改修し、町営住宅として整備を進めている。



大川地域の七滝

地域振興協議会の今後はNPO法人化による強化

なぜNPO法人化を進めるか

今までの地域振興協議会の事務を法人化した組織が行うのではなく、地域をどうしたいかを地域で考え、それを実現し運営する母体として法人化を進めている。地域振興を担う『まちづくり総合会社』をイメージしている。法人化により6次産業化や介護保険施設の運営など前向きに事業が実施できる。

佐々木議員 地域振興協議会について次の事項を聞く。

- ① 町との役割分担。
 - ② 役員の成り手不足の対策。
 - ③ NPO法人化の内容と進捗状況。
- 町長 ① 社会的インフラ整備（※）は町が担当し、それ以外の地域課題の解決に取り組むことが地域振興協議会の役割と考えている。
- ② 事務局体制の強化に努め負担軽減をはかる
- ことで、役員の成り手不足の解消につなげた。い。
- ③ NPO法人化は、事務局員の雇用を安定させ体制の強化をはかり、これまで手が届きにくかった事業を推進することが目的である。
- すべての地域振興協議会から法人化の最終的な同意は得ていない。協議を重ね、戸惑いや不安を解消しながら法人化を進める。

(※) 生活や産業の基盤となる公共設備を整え、充実させること



産業振興について問う

のだて
野館 泰喜 議員

商店街づくりを支援

伊達町長

野館泰喜議員 ①新事業

業「個店経営力アップ 応援事業」について内容を聞く。

町の中心商店街の店主が切望していることは、経営指導よりも客の確保ではないか。バイパスを通る車を何分の一かでも商店街に引き入れる努力が必要ではないか。

空き店舗を町で借り上げ、商店街全体の魅力作りに着手すべきで

ある。

②太陽光発電の導入は、事業主体ではなく、企業誘致する方向に舵を切るべきである。土地賃借料、下刈り管理費、固定資産税などのメリットを考えると、その方向に踏み出すべきと思うがどうか。

伊達町長 ①商店街に人を誘導できるような店舗をつくるという考えから導入した事業である。個店へコンサル

ティンクを実施し、経営力を伸ばすというものであり、商店街全体の活性化を狙いとしている。

②地形的条件などから、県の大規模太陽光発電の導入候補地から本町は外れている。

本年度、中里地区の町有地を活用したいとの相談を受けたが、当該地区は復興事業のストックヤード（※）として活用していること

から、復興事業の推進を優先した。



商店街を駆け抜ける小川搬送隊(龍泉洞みずまつり)

乙茂道の駅の周辺整備を動向を調査・研究する

野館議員 寝台列車宿

泊施設が整備され、受け入れ人数が大幅に増える。

この機会に、パークゴルフ場の公認化と温浴施設の整備に着手すべきである。

また、この一帯を高齢者と子どもたちの憩いの場として整備すべきではないか。

町長 パークゴルフ場の公認化は、施設の整備が必要な割にメリッ



パークゴルフ場の公認化は見送りましたが、魅力あるコースづくりを行います

トを確認できなかったため見送ってきた。

温浴施設の整備は、既存の入浴施設への影響を慮する必要が有る。また、燃料高騰を想定した経費など検討課題がある。

いずれにしても、観光振興と高齢者福祉の観点から、充実させていくべき施設と認識している。

(※) 建設発生土の一時保管場所



集団移転地の地盤調査は

はやしざき きょうじろう
林 崎 寛次郎 議員

引き渡し前に支持力を調査

伊達 町長

町の考えを問う



小本地区災害公営住宅竣工式の様子（3月28日）

林崎寛次郎議員 集団移転地の地盤が軟弱な場合、利用者に大きな負担が生じる。引き渡し前の対応を聞く。伊達町長 工事完了後は、地盤支持力を調査し、木造2階建て住宅を建築できる支持力を確保して引き渡しする。

町独自の住宅支援策を 検討を加え取り組む

林崎議員 国や県の支援制度から外れた被災者がいる。町独自の住宅再建支援の考えはないか。

町長 震災当初一世帯として被災証明を受けて国や県の支援により住宅の再建を行った後、事情により世帯分

離を行い、新たに住宅の建築を考えている世帯がある。

この場合、支援完了者扱いになるが、実態調査や現行の助成制度と整合性をはかりながら、あらゆる角度から住宅再建支援策の検討を行う。

漁業再開の環境整備を 国や県の支援で整備

林崎議員 漁業は、東日本大震災で壊滅的な被害を受けた。再開に向けた環境整備について示せ。

町長 漁船、漁具および仮設倉庫は、国や県の支援を受けて整備を完了している。漁船漁業用作業保管施設や給油施設などは現在工事を進めている。



イサダ漁などを行う船

民生委員の配置状況は 改選で5地区が未配置

林崎議員 民生委員が配置されていない地区がある。一日も早い配置が必要ではないか。

町長 昨年12月の一斉改選で、5地区で後任の民生委員が推薦できなかった。町は鋭意努力しているが、地区自治会の協力が不可欠である。後任候補者の掘り起しに積極的な協力を願う。

なお、先日、後任候補者から承諾を得た地区もある。

陳情

3月定例会に提出された請願は4件でした。担当の常任委員会で慎重に審査した結果、次のとおり決まりました。
採択された請願の意見書は、議員発議で提出。これを全会一致で可決し国の関係機関に送付しました。

請願件名(担当常任委員会)	請願人	紹介議員	審査の結果
釜津田釜沢から盛岡市藪川側にトンネルの整備を求める請願(産業常任委員会)	佐藤栄治	佐々木久任議員 三田地泰正議員 林崎竟次郎議員 合砂丈司議員	不採択
政府が米の需給と価格に責任を持つ米政策の確立を求める請願(産業常任委員会)	農民運動 岩手県連合会 会長 久保田彰孝	林崎竟次郎議員	採 択
サービス削減・費用負担増の介護保険改悪案中止を求める請願(総務常任委員会)	太田巳代治 三田地謙	林崎竟次郎議員	不採択
特定秘密の保護に関する法律の撤廃を求める請願(総務常任委員会)	村木登 佐々木八千代	林崎竟次郎議員	不採択

▼政府が米の需給と価格に責任を持つ政策を確立すること
▼現行の経営安定政策を堅持し、さらに拡充すること

「米政策の確立」など 国の機関に対し要望

可決された「需給と価格に責任を持つ米政策の確立を求める意見書」を国の関係行政庁に送付しました。
意見書の要旨は次のとおりです。

請願や陳情とは？

町民の皆さんの意見や要望などを町政に反映させる方法として、請願・陳情の制度があります。請願書や陳情書の作成方法などは次のとおりです。

- ① 請願(陳情)の内容は、要旨や理由を簡単に分かりやすく記載してください。
- ② 請願書は1人以上
- ③ 紹介議員がいないときは、陳情書としてください。
- ④ 請願書や陳情書は、議会定例会中に審査します。
- ⑤ 提出先は議会事務局になりますが、2通提出してください。

ことしは「馬年」。
請願してみるか～！
「ウマくいくと
いいなあ…」



(表紙)

請願(陳情)書

紹介議員 氏 名 印
(陳情の場合、紹介議員は不要)

(内容)

年 月 日

岩泉町議会
議長 加藤久民 殿

請願(陳情)者
住所
氏名 ○○○○ 印

○○についての請願(陳情)
(要旨)……………
(理由)……………



質疑のその後

どうなりました...あの提言

議会だよりでは、定例会で行われた質疑の要旨を掲載しています。議員の行う提言などは、町政にどう反映されているのでしょうか。これまでの質疑の中から一部をピックアップし、その後の経過について追跡してみました。

◆平成 24 年 12 月定例会

質問 岩泉球場の電光掲示板の整備を

楽天イーグルス岩泉球場は、平成 28 年に行われる岩手国体の軟式野球の会場になっている。電光掲示板が老朽化し得点があはつきりしないなど支障があり、改修すべきと思うがどうか。

答弁

実行委員会で意見を聞きながら、必要な施設の整備に努める。



チーム名は、手書きのベニヤ製。数字は電球が切れやすく見えづらい状態のスコアボード

26年度に
予算計上

◆岩泉球場電光掲示板更新工事 5202 万円

大会運営にあたる くどういくお 工藤郁雄さんに

お話を聞いてみました。

牛乳カップの少年野球や中学校の県大会を誘致していますが、大会のたびにチーム名を作成したり、切れた電球を補充しなければなりません。

改修後は、本部席からチーム名を入力できます。また、明るく切れにくい電球のため得点も鮮明になり、より一層の利活用が期待できます。





議会の施策要望に

町はどう答えたのか

町議会と町議会政務調査会（佐々木久任会長）は昨年9月、平成26年度の施策に対する要望書を町に提出しました。この要望に対し町がどう答えたのか。回答とその後の施策を検証します。

検証

小本地区災害公営住宅が完成し、平成26年4月から入居が始まりました。

国境・見内川地域の農地は、平成26年度の作付けに間に合うよう整備を進めています。

〔要望〕 被災した小本地区の復興と国境・見内川地域の集中豪雨災害の復旧は、着実かつ迅速な対応が見られるものの、なお一層の早期実現をはかられたい。

〔回答〕 震災復興は、おおむね当初計画のとおり進んでいる。

集中豪雨災害による河川や道路、農地の復旧は、災害査定を受けた後、補正予算を計上の上、速やかに工事を発注し、早期に完成するよう努める。

復興・復旧の早期実現を万全を期して事業執行する



伊達町長に要望書を手渡す議長と政調会役員ら

結婚や出生率の向上対策を前向きに研究を進める

〔要望〕 本町の将来を見据え、これまで以上に過疎問題を重要課題として施策展開する時期ではないか。

- ① 創意工夫をこらした結婚や出生率の向上対策
- ② 雇用促進住宅の建設
- ③ 医療費助成対象者の拡大

〔回答〕 ① 既存事業を充実するとともに、新たな施策を研究する。
② 町営住宅の整備をはかるとともに魅力ある住宅整備について検討する。
③ 平成26年度の実施に向け検討中。

検証

① 結婚活動支援として龍コンと龍ちゃんFutureカップリングが継続実施されました。また4月1日から、結婚した夫婦に龍ちゃん商品券10万円分を支給する条例が制定されました。（詳しくは、「広報いわいずみ」3月15日号をご覧ください）



お友達いっぱい欲しい

② 子育て支援を目的とした住宅の整備調査委託料331万円を本定例会新年度予算で可決しました。
③ 8月診療分から医療費助成対象者が中学生まで拡大されました。（詳しくは3ページをご覧ください）

医師確保をはかれ 積極的に対策を推進

【要望】 済生会岩泉病院の常駐医師の確保、とりわけ子育て支援の側面から小児科医の確保をはかるべきである。

【回答】 町の医師奨学生2人の義務履行も含めて、岩手県医療局や国保連合会へ要望するなど医師確保対策を勧めている。今後も積極的に医師確保対策を推進する。



1歳6カ月児健診の様子（保健センター）

検証

済生会岩泉病院医師確保対策補助金2500万円を本定例

会新年度予算で可決しました。

ワサビの秋苗確保をはかれ 遊休ハウスの活用を検討

ワサビの出荷量と販売額

年度	出荷量	販売額
平成25年度	357ト	1億3149万円
平成24年度	381ト	1億2915万円
平成23年度	362ト	1億2373万円

平成25年度は見込額。3組合分

【要望】 ワサビは本町の気候風土にあった作物である。さらに生産拡大をはかるため、秋苗確保用の施設整備の拡充をはかられたい。

【回答】 遊休ハウス施設の活用策を含めて、栽培に向けて生産団体と検討を進める。

検証

ワサビの秋苗の育苗は技術的に難しく、また、育苗時期が出荷繁忙期と重なります。このことから、秋苗の実証栽培を委託し、



ワサビの小さな白い花

栽培技術のマニュアル化を進めるため、委託料300万円を本定例会新年度予算で可決しました。

袋培地栽培の導入を 支援体制を整える

【要望】 シイタケ菌床栽培に使用したハウスが空いている。床がコンクリートでも、すぐに転用できる「袋培地」によるトマトの栽培を導入し、栽培農家の所得向上をはかられたい。

【回答】 土壌条件に影響されず、栽培管理のしやすい有効な栽培技術と認識している。普及センターや農協とともに農家への支援体制をとり、導入を進めていきたい。



高齢者や女性が作業しやすい袋培地栽培の導入を！

検証

導入に向けて関係機関と協議を進めています。

議会を傍聴しませんか

次の定例会は

6月上旬の予定です

震災から3年が経過

「3・11 メモリアルイベント」～おもとの未来に向けて～が開催されました。イベントに参加していた震災で被害を受けた金澤さんに、この3年を振り返っての感想などをインタビューしました。



かなざわ たくや
金澤 卓也さん
(小本・48歳)

一日も早い 宅地造成を

―震災から3年を振り返って。

金澤 今年完成した小本地区災害公営住宅への入居が始まると、仮設住宅団地は変わってくると思います。

私は移転地を希望していますが、場所が確定していません。住宅資材や人手不足で住宅建築の時

間がかかると聞き、不安を払しょくしきれません。

―仮設住宅で苦勞している点はありますか。

金澤 家族5人で生活していますが、子どもが成長し、以前より窮屈な状態です。

―復興に対する思いを聞かせてください。

金澤 小本の町は元のように戻りませんが、安心して暮らせる新しい小本が早くできることを望んでいます。

―議会や町政に対する要望などはありますか。

金澤 生活再建のためと、子供たちが広い部屋で伸び伸びと生活できるように、一日でも早く移転地の宅地造成を進めていただきたいと思います。

町村議会広報コンクール 全国6位



皆様のご協力でご受賞することができました。今後ともよろしく願います (編集委員一同)

いわいずみ議会だより第163号(平成25年4月30日発行)が、平成25年度町村議会広報全国コンクールで222点の応募の中から「優良賞」(6位)に選ばれ、6年連続で全
国入賞となりました。

企画ごとの構成とレイアウト、訴求力のある見出しなどが評価されたものです。今後も町民の皆さんが読みたくなる紙面づくりに努めていきますので、ご協力をお願いします。

お詫びの言葉

平成26年1月15日発行第166号の13ページ写真説明中、「スクールバス」は「町民バス」の誤りでした。お詫びして訂正します。

表紙の写真

東日本大震災で被災し運休していた三陸鉄道の小本―田野畑間が、4月6日に開通しました。約3年ぶりの全線開通を喜ぶ笑顔が、駅のホームにあらわれていました。



編集後記

岩泉中学校の卒業式に出席しました。卒業生に我が子が重なり、厳粛な気持ちになりました。

今議会では、震災復興の加速、生活の再建、産業経済の再生などを議論し、医療費助成を中学校卒業まで拡大することも決めました。読みやすくなるよう、今号から文字を大きくしました。皆様のご意見・ご感想をお寄せください。(編集委員 林崎竟次郎)

議会広報編集委員会

議長	加藤久民
委員長	合砂丈司
副委員長	三田地久志
委員	八重樫龍介
	林崎竟次郎
	野館泰喜
	坂本昇



古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と、森林の再生に取り組む岩手県岩泉町の連携により実現した「森の町内会―間伐に寄与した紙―」を使用しています。

